

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター

チリの大型シノプティック・サーベイ望遠鏡 (LSST)、  
NSF等の米国パートナーの協力を得て起工 (4月9日)

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) は 4 月 9 日、チリ・パチョン山に設立される大型シノプティック・サーベイ望遠鏡 (Large Synoptic Survey Telescope : LSST) の起工式が同 14 日に LSST 建設現場において行われることを明らかにした。同起工式には、NSF の他、エネルギー省 (Department of Energy) や、LSST プロジェクトに関与する官民パートナーが出席する予定である。LSST は、直径 8.4 メートルの広域調査望遠鏡で、10 年間に亘り、週に数回、全天の画像を撮影する。同プロジェクトは、チリ国家科学技術研究委員会 (Comisión Nacional de Investigación Científica y Tecnológica : CONICYT) と、チャールズ・アンド・リサ・シモニー芸術科学基金 (Charles and Lisa Simonyi Fund for Arts and Sciences)、及びビル・ゲイツ氏 (Bill Gates) などの協力・寄付により実現するもので、LSST による観測は 2019 年に開始され、完全運用は 2022 年に開始される予定である。

National Science Foundation, US, Chile to 'officially' kick off LSST construction  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=134762&WT.mc\\_id=USNSF\\_51&WT.mc\\_ev=click](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=134762&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click)